

目次

■ 経営理念

■ 丸紅の歩み

Chapter 1 経営戦略

- 5 社長メッセージ
- 10 ビジネスモデル
 - 10 丸紅の価値創造プロセス
 - 12 ビジネスモデル別経営指針
 - 14 サステナビリティ 持続的な成長のために
 - 16 ステークホルダーとともに
 - 18 セールス＆マーケティング事業(ヘレナケミカル社)
 - 20 ファイナンス事業(PLM社)
 - 22 安定収益型事業(IPP事業)
 - 24 資源投資(ロイヒル鉄鉱山プロジェクト)
- 26 財務ハイライト
 - 28 財務データ
 - 29 非財務データ
- 30 CFOメッセージ
- 34 サステナビリティ
 - 34 CSRマネジメント
 - 35 環境への配慮
 - 36 サプライチェーン
 - 38 社会貢献
 - 39 多様な人材の活用
 - 43 外部評価
 - 44 CSR行動計画・目標

Chapter 2 経営基盤

- 46 丸紅のコーポレート・ガバナンス
- 46 取締役及び監査役
- 49 筆頭社外取締役メッセージ
- 50 コーポレート・ガバナンスへの取り組み

Chapter 3 事業活動報告

- 62 組織図
- 64 At a Glance
- 66 営業グループ
 - 66 生活産業グループ
 - 70 素材グループ
 - 74 エネルギー・金属グループ
 - 78 電力・プラントグループ
 - 82 輸送機グループ

Chapter 4 企業情報

- 86 財務情報・会社概要
- 87 財務情報
- 102 会社概要
- 112 環境データ及び社会性データについての第三者保証

編集方針

「統合報告書2017」は、ステークホルダーとのコミュニケーションを図り、広く社会の信頼を得ることを目的としています。丸紅グループの企業価値をより体系的にご理解いただくために、企業価値と社会価値の共創を目指す姿を、統合報告書として発行しています。当社グループの事業戦略とともに、ビジネスを通じた社会的課題の解決にいかに取り組んでいるかを知っていただければ幸いです。

なお、本冊子では、報告対象期間の年度表記を2017年3月期（2016年4月1日～2017年3月31日）としています。

将来の見通しに関する注記

本冊子の中で、2018年3月期以降の展望や経営計画等の将来の見通しに関わる情報が記載されています。これらは、現時点で適切と判断される一定の前提に基づいたものであり、以下の変動要因によって、結果が左右される可能性があります。すなわち、日本及び世界の主要市場における消費動向や民間設備投資、米ドルをはじめとする各国通貨の為替変動、各種原料・素材価格の動向、特定の国・地域における政治的混乱等が、それに当たります。従いまして、将来の見通しに関わる記載については、不確実な要素を含んだものとご理解ください。

会計基準に関する注記

2013年3月期までは米国会計基準(U.S. GAAP)ベース、2014年3月期以降は国際会計基準(IFRS)ベースで記載しています。

また、本冊子では「親会社の所有者に帰属する当期利益」を「連結純利益／当期利益」と表記しています。